

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	雪寒対策道路事業		路河川名等	(主)信濃信州新線		
事業毎の通番	2	市町村名	小川村	箇所名(ふりがな)	穴尾(あなお)	
事業目的	主要地方道信濃信州新線は、小川村と信州新町を結ぶ重要な幹線道路であり、病院、学校等の公共施設への重要なアクセス道路である。当地域は豪雪地域に指定されており、冬季の降雪が特に多く、幅員も狭小のため除雪における車線の確保に困難を極めている。このため堆雪帯を設置することにより冬季の安全を確保する。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け			事業実施の根拠法令等	道路法 積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法		
関連する事業、計画等	特になし					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	小川村 穴尾地区及び長野市 信州新町越道地区の沿線住民					
着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果		国庫	その他	県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	堆雪帯設置工 L=350m W=4.5(7.0)m			400,000	242,400	157,600
年度事業内容(主な工種)	用地測量 一式 用地補償 一式			20,000	12,120	7,880
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	冬季の積雪による幅員減少が、堆雪帯設置により、より安全で円滑な通行が確保できる。				
	間接的効果(定量的・定性的)	堆雪帯の設置により、小川村と長野市信州新町間のアクセスが、より安全で円滑になり、地域間の活性化が期待できる。				
評価の視点	必要性	現道幅員が4.5mと非常に狭いうえ、冬季の積雪によるさらなる幅員減少により通行に支障をきたし、安全で円滑な通行を確保する必要がある。				評価 B
	重要性	本路線は、小川村と長野市信州新町を結ぶ重要な路線であり、病院や学校等公共施設へのアクセス道路となっており、堆雪帯設置は重要性がある。				評価 B
	効率性	現道に沿った堆雪帯を設置することにより、事業の効果を早期に発現する。				評価 B
	緊急性	H26.2の豪雪では、現道幅員が狭いうえに、積雪により、さらに幅員が減少し、通行に支障がでた。安全で円滑な通行を確保するため、堆雪帯の設置が急がれる。				評価 B
	計画熟度	H26.3.12地元説明会を実施し、地元の合意形成が図られている。				評価 A
部意見	生活路線として重要であり、ボトルネック区間であるため、冬季の幅員確保のために整備が必要である。	行政改革課意見	幅員が狭く、さらに降雪により幅員が減少し通行に支障をきたしていることから、必要性は認められる。	評価結果 ○	総合評価 B	

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
		
事業概要説明図表	【整備の必要性がわかる状況写真等】	
		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地区は山間地で積雪が非常に多い地域である。除雪により通行はできるものの、幅員が減少し、行進いができなく、支障をきたしている。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	(主)信濃信州新線改良促進期成同盟会で毎年強い要望が出されている。
	③事業説明等の経緯	H26.3.12地元説明会を実施
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	法面は、緑化を計画し、自然環境に配慮する。
	⑥地域活性化への影響と配慮	堆雪帯設置により、安全円滑な通行確保により、小川村と長野市信州新町間の地域活性化へ寄与する。
	⑦その他	
		事業代表地点の緯度経度 北緯:N 137° 59'57" 東経:E 36° 35'51"